

2013年度

事業報告書

社会福祉法人にじのこ福祉会

事業報告

社会福祉法人にじのこ福祉会

1. 法人の概要

経営主体	社会福祉法人 にじのこ福祉会
所在地	岡山県岡山市中区桜橋三丁目1番51号 TEL 086-272-4111 FAX 086-272-4171
代表者	理事長 浪尾淑子
法人設立年月日	2010年7月1日

2. 法人事業活動状況

2013年7月より第2期役員・評議員による法人運営を行っている。

今年度課題のひとつとして、法人の基本理念の策定や組織整備などを計画していた。理事会では、法人が歩んでいく方向性や新たな展開などについての話も出たが、十分な協議をおこなうことはできなかった。

地域に貢献できる事業展開を模索することを目的として、岡山医療生活協同組合、(株)協同プランニング、(社福)岡山中央福祉会との4者協議会では、「医療・子育て・介護」のそれぞれの分野を担う法人が集まり、この地域に貢献できる事業展開を継続して協議している。今年度は、子育ての分野として、地域の方で、働いているにも関わらず保育園に入園できなかった方を対象に、一時保育の利用時間や料金の見直しなどの検討を行った。その他、保育園の保護者駐車場や職員駐車場の確保のため、(株)協同プランニングが、保育園の西側隣地を購入し、賃貸借契約を結ぶことが出来た。このことで、夕方道路に連なっていた車の渋滞がなくなり、地域の方からも安心の声が聞かれた。

また、昨年度から継続している問題として、近隣住民からの「子どもの声が気になる」といった苦情などの対応を協議した。

3. 理事会・評議員会 開催状況

●理事会開催状況

開催 年月日	出席者 人数	議 題	欠 席 者 氏 名	出席 監 事 氏 名
H25 5/23	理事7名 監事2名	第1回理事会 ○経過報告 1号議案：評議員の選出について 2号議案：2012年度社会福祉法人にじのこ福祉会事業報告書(案)について 3号議案：2012年度社会福祉法人にじのこ福祉会決算報告書(案)について [監査報告] 4号議案：2013年度補正予算（案）について 5号議案：規定類の改定について 6号議案：前回理事会の経過を踏まえての協議		岡野鈴子 藤原弘典
H25 7/4	理事5名 監事2名	第2回理事会 ○経過報告 1号議案：前回理事会の経過を踏まえての協議 2号議案：地域住民からの申し入れについて	崎本明雄 浪尾淑子	岡野鈴子 藤原弘典
H25 8/5	理事5名 監事2名	第3回理事会 ○経過報告 1号議案：園舎西側隣地を借地する件 2号議案：地域住民からの申し入れによる塀の設置について	入江慶太 浪尾淑子	岡野鈴子 藤原弘典
H25 9/18	理事7名 監事2名	第4回理事会 ○経過報告 1号議案：園舎西側隣地の土地賃貸借契約について 2号議案：保育士等処遇改善臨時特例事業補助金について 3号議案：2013年度第2回補正予算について		岡野鈴子 藤原弘典
H25 12/19	理事7名 監事2名	第5回理事会 ○経過報告 1号議案：規定類改定について 2号議案：育児・介護休業等に関する労使協定について		岡野鈴子 藤原弘典
H26 3/19	理事6名 監事2名	第6回理事会 ○経過報告 1号議案：2013年度補正予算（案）について 2号議案：規定類の改定および協定の締結について 3号議案：主任保育士の任命について 4号議案：2014年度事業計画（案）について 5号議案：2014年度当初予算（案）について 6号議案：当座貸越の契約更新について 7号議案：2014年度の労働組合からの要求について 8号議案：保育園の整備について	岡嶋清太郎	岡野鈴子 藤原弘典

●評議員会開催状況

開催年月日	出席者人数	議題	欠席者氏名	出席監事氏名
H25 5/23	12名	第1回評議員会 1号議案：2012年度社会福祉法人にじのこ福祉会事業報告書(案)について 2号議案：2012年度社会福祉法人にじのこ福祉会決算報告書(案)について [監査報告] 3号起案：2013年度補正予算(案)について	井上伸二 狩野毅 長田美和子	岡野鈴子 藤原弘典
H25 9/18	8名	第2回評議員会 ○経過報告 1号議案：園舎西側隣地の土地賃貸借契約について 2号議案：2013年度第2回補正予算について	伊原潔 井上伸二 狩野毅 黒瀬章子 清水博文 武田英夫 中西直美	岡野鈴子 藤原弘典
H26 3/19	8名	第3回評議員会 ○経過報告 1号議案：2013年度補正予算（案）について 2号議案：2014年度事業計画（案）について 3号議案：2014年度当初予算（案）について 4号議案：当座貸越の契約更新について	上羽佳子 景山一正 狩野毅 黒瀬章子 河本志津枝 長田美和子 森岡健司	岡野鈴子 藤原弘典

4. 監事監査の実施状況

2013年5月13日（金）9:00～ 岡野鈴子監事（業務監査）・藤原弘典監事（会計監査）

5. その他

岡山市指導監査 2013年11月21日(金)13:30～ 施設（運営・会計・事業）

職員採用試験 2013年10月26日(土)9:00～14:30 2名採用

	4者協議会	次世代検討委員会
4月	25日(木)	
5月		
6月	20日(木)	3日(月)・17日(木)
7月		8日(月)
8月	22日(火)	
9月	26日(木)	
10月	31日(木)	
11月	28日(木)	
12月	23日(木)	
1月		
2月		
3月	11日(火)	

事業報告

岡山協立保育園

1. 保育を取り巻く状況

【国】

2015年度より『子ども・子育て支援新制度』が実施される予定。この制度は、①質の高い幼児期の学校教育・保育を総合的に提供する②地域の子育てを一層充実させる③待機児童の解消、など、一見良いことが多いように思われがちだが、様々な問題点が含まれている。制度に関しては、①子どもが保育を受ける環境に格差が生じる（家庭的保育や小規模保育、居宅内保育など、従来の認可保育園より下げた条件の施設への公的支援を強め、受け入れ枠を拡大することで待機児解消につなげようとしている）②保育園の保育内容に対する誤解が生じる（認定こども園が、質の高い幼児の学校教育と銘打つことで、保育の中の教育をそれとは違うものとして強調する中身になっている。）などが挙げられる。

【岡山市】

岡山市は、いち早く「岡山市の就学前教育・保育の在り方について」を策定した。

また、岡山市「子ども・子育て会議」の中では、基本指針の策定や本格施行に向けての基準等の検討を行うことになっている。私たちは、子どもの権利を守り市民の意見の反映された内容になるよう、協力できる各種団体と共に働きかけを行った。

入園状況を見ると、2013年度は、年間通じて900人程度の保留児がいた。認可保育園の数の拡大では、鹿田学区に120名定員の保育園が出来るが、今後も認可保育園の整備が求められる。

2. 岡山協立保育園の概要

(1) 地域の概要

岡山協立保育園は、岡山駅から車で約10分のところに位置しており、高齢者が多い地域になっている。街の中心部であるため、周囲2キロ以内には認可保育園が13園あり、保護者は勤務地に近いなどの理由で利用するケースが多くなっている。

在園児は、岡山市全域から登園しているが、中区が一番多く約83%を占めている。その他の地域では、東区が約2%・北区が約5%・南区が約10%になっている。地元東山中学校区の割合は、全体の約51%（平井小学校区約37%、旭東小学校区約14%）を占めている。園児は、岡山市内全域から登園しており、24小学校区から通って来ている。ここ最近では、地元からの入園が増えてきている。

(2) 施設の概要

- ・敷地面積 3185.32㎡（うち駐車場の一部は借地…374.24㎡）
- ・延床面積 814.09㎡（園舎792.49㎡・屋外倉庫21.60㎡）

(3) 定員

- ・保育事業 定員 90名（各年齢 15名）

(4) 受入年齢

- ・受入年齢 生後 57 日目から就学前まで

(5) 保育時間

- ・午前 7 時から午後 6 時まで（延長保育は午後 6 時から午後 7 時まで）

(6) 保育方針

- ・一人ひとりの子どもを大切にす
- ・父母の労働を保障する
- ・父母と園が連帯を持って、地域の人々の信頼と協力を得ながら保育の輪を広げる
- ・職員は保育の向上と充実に向けて学習につとめる

(7) めざす子ども像

- ・健康な子ども
- ・生活やあそびをつくりだす子ども
- ・ともだちと共に育つ子ども
- ・働く喜びがわかる子ども

(8) 年間利用児童数（2014 年 3 月 31 日現在）

（定員超過率 113.7% 平均在籍数 102.3 人/月）

種 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10	11	12	1月	2月	3月	合 計
0 歳	9	11	12	13	14	15	17	19	19	19	19	19	186
1 歳	15	16	16	16	16	16	17	17	16	16	14	14	189
2 歳	14	14	14	14	13	14	14	13	13	13	13	13	162
3 歳	17	18	18	18	17	17	16	16	16	16	15	15	199
4 歳	20	20	20	20	20	20	22	22	22	22	22	22	252
5 歳	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
合計	95	99	100	101	100	102	106	107	106	106	103	103	1228
入園児数	13	2	1	2	1	2	1	1	3	2	1	0	43
退園児数	0	1	0	0	0	1	0	3	0	1	1	10	4

※退園理由…入所理由消滅(育休取得による退園)・家庭の都合・転居など

(9) 一時預かり利用児童延べ人数

(年間開園日数 ; 238日 ・ 平均利用人数 ; 約9.8人/日)

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4時間未満	14	21	7	6	11	1	9	8	3	10	16	21	127
4時間以上 8時間未満	111	144	147	182	162	175	195	198	209	208	258	284	2273
合計利用数	118.0 (内 35)	154.5 (内 33)	150.5 (内 36)	185.0 (内 41)	167.5 (内 61)	175.5 (内 48)	199.5 (内 71)	202.0 (内 80.5)	211.5 (内 79)	213.0 (内 78)	266.0 (内 140)	294.5 (内 141)	2336.5 (内 843.5)

※合計利用数＝(4時間未満利用の利用人数×0.5人)＋(4時間以上の利用人数)

※()内数字は、育休一時預かり利用人数

(10) 延長保育事業 18時～19時

(平均利用人数 約9.4人/日)

(11) 職種別職員数(2014年3月31日現在)

※()は非正規の人数・派遣を含む

形態	職 種	施設長	主任 保育士	副主任 保育士	保育士	栄養士	調理員	事務員	用務員	合 計
常勤職員		1人	1人	1人	18(12)人	1人	2(1)人	1人		25(13)人
短時間職員					3(3)				1(1)	4(4)
合 計		1	1	1	21(15)	1	2(1)	1	1(1)	29(17)

(12) 年間行事、災害訓練、健康管理、衛生管理等実施内容

実施月	保育園行事	健康管理 災害訓練	地域行事への参加 行政・他団体との連携行事
4月	進級おめでとうの会 いのちを大切にす日		
5月	端午の節句の会、保護者総会 いちご狩り	フッ素塗布①	どんぐりフェスタ(岡山医療生協) 赤ちゃん同窓会(岡山医療生協)
6月	保育参観週間、救命救急講習会 クラス懇談会(1・2歳、3上)	定期健康診断① ぎょう虫・尿検査週間	旭東こどもまつり(旭東小学校)
7月	七夕の会、クラス懇談会(0歳児) 土用の丑の日の会、お泊り保育	歯科検診	交通安全指導①(岡山市生活安全課) 赤ちゃん同窓会(岡山医療生協)
8月	そうめん流し		宿題応援隊(岡山医療生協) 民話の会(児童センター) お化け屋敷の会(児童センター)
9月	プールじまいの会、おつきみ会 中秋の名月の会「すもう大会」 芋ほり遠足	フッ素塗布②	人形劇(旭東福祉交流プラザ)
10月	ちびっこまつり		消防車をみる会(児童センター)
11月	就学前懇談会、お泊り保育	定期健康診断②	赤ちゃん同窓会(岡山医療生協)

12月	交通安全指導②、クリスマス会、 おおきくなあれのつどい		交通安全指導②（岡山市生活安全課）
1月	七草の会、こんにゃくの日 鏡開きの会、劇団風の子観劇 クラス懇談会（0歳、1・2歳）	フッ素塗布③	震災支援もちつき（岡山医療生協） 造形展（岡山市造形同好会）
2月	卒園児の会、節分の会 角笛シルエット公演観劇		
3月	ひなまつり茶会、もちつき 卒園式		交通安全指導③（岡山市生活安全課）
毎月	お弁当の日 園庭開放 絵本の会	避難訓練 身体測定	ふれあい会食 赤ちゃんマッサージ

(13)職員会議・職員研修

①職員会議

- ・職員会議（毎月第1土曜日 13：30～）
- ・総括会議（2/8(土)13：30～18：00・2/9(日)9：00～18：00）
- ・方針会議（3/8(土)13：30～18：00・3/9(日)9：00～18：00）

②職員研修

	主催	研修名	内容	日時	参加者	
全 国	全国保育問題 研究集会	全国集会	乳児保育	6/7～9	檀上	
	全国保育団体連絡会	全国集会	一時保育（司会） 年齢別保育（0・1・2歳児）	8/10～12	檀上 川西 松浦・池本か	
	神戸コ研	マルチ研修	体育・環境認識	7/6・7	檀上・白砂 池本ま	
			リーダー研修会	ヘルミナ学習会	11/9・10	坪中・森岡
			リーダー研修会	わらべうた	4/21 5/24	森岡 森岡
	広島JFA-エコー	わらべうたセミナー	わらべうた	7/6・7	森岡	
全国民間保育園経営 研究懇話会	夏季セミナー	保育制度	9/1・2	坪中		

	幼児教育研究協会	中国地区岡山支部 研修会	心の育ちと対話する保育実践	1/11	坪中・檀上 森岡・浅野 白砂・池本ま 松浦・池本か 片岡
岡山県	岡山県保育協議会	保育研究大会	保育研究発表	1/21・22	池本ま
	岡山県給食協議会	特定給食従事者 研修会	衛生管理について	8/6	塚本
			心の豊かさを育てる料理の力	2/20	塚本
			災害時のための貯蔵と献立 集団給食の衛生管理について	2/24	土井
岡山県私立保育園 連盟	2013保育ミナ 連盟 保育ミナ	倉敷・昭和保育園保育見学会	7/23・24 10/22・23	木村・後路 藤原	
		一人ひとりを大切に する保育とは	6/13	浅野	
岡山県民間保育所 協議会	園長研修会	園長研修	11/20	坪中	
	新任保育士研修会	新任保育士研修	3/15	今在・明石 福井	
岡山市	岡山市保育協議会	市保協研修	運動あそび	6/5	池本ま
			障害児研修	7/18	池本か
			うた	8/28	矢部
			情勢	10/3	坪中・森岡・ 檀上
			乳児の脳科学	10/11	森岡
			保育環境	11/1	浅野
			アレルギー	12/2	川西
		4ブロック	第4ブロック総会、交流会	5/17	正規職員
			衛生研修会・調理実習	6/21	塚本
			公開保育（宇野保育園）	10/22	池本ま
			調理員研修	11/13	塚本
その他	倉敷コ研	倉敷ミナ	幼児のあそびと異年齢混合保育	9/14	檀上
		ヘルミナ学習会	11/4	坪中・森岡	
	保育ミナ		10/20	池本ま	
	わらべうたミナ	わらべうた講習会（世話人・森岡）	年5回	檀上・池本ま	
	環境認識	環境認識について学ぶ（3回）	6/16	白砂	
			9/28	池本ま	
			11/30		

	乳児保育	乳児保育の基本について学ぶ	年5回	森岡・松浦 池本か・川西 木村・松本
	新人保育実践研修 3年目研修	流れる日課と育児担当制 乳児のあそび	4/14 6/4	川西・池本か 檀上・森岡
	食事セミナー	子どもの食事、献立について	11/7	坪中・檀上 森岡・塚本 河原
	倉敷公開保育	(乳児)	(昭和) 6/4 (ひまわり) 6/14 (帯江) 9/12 (中洲) 10/21 (連東) 10/30 (琴浦中) 1/17	松浦 池本か 木村 池本か 森岡 檀上
		(幼児)	(協立) 2/4 (連東) 6/14 (昭和) 10/18	全職員 池本ま 浅野・川西
岡山協立保育園	自主学習会	第1回保育実践学習会(野崎末子) 第2回保育実践学習会(野崎末子)	11/19~22 1/14~18	全職員 全職員
	わらべうた研修会	子どもの絵画の発達を学ぶ 船井造形研修	4/27 6/1 7/6 9/27 10/12 11/9	檀上・浅野 白砂 池本ま
		クラス公開保育と話し合い わらべうたをうたう会	5/21 7/12 12/6 2/14	全職員

(14)その他(建物等修理・修繕の実施、設備・備品等の整備内容等)

◇建物・備品等の修理・修繕

- ・生ごみ処理機 修理
- ・ひやりん 修理
- ・ホットおしぼり機 部品交換

◇構築物の設置

- ・砂場日除けテントの設置(H24赤い羽根共同募金配分金事業)

◇設備・備品等の整備

- ・AED自立型BOX
- ・アルミにこにこテーブル
- ・かんたんテント
- ・非常食保存用大型ストッカー

3. 2013年度の総括

— 私たちの保育についての考え方 —

私たちは、「一人ひとりを大切にする」という理念を持っている。

集団保育の中で、一人ひとりを大切にすることを実践するため、乳児保育では「担当制」と「流れる日課」を、幼児保育では「異年齢混合保育」を取り組んでいる。

「担当制」（0～2歳児）

子ども達は、毎日決まった大人に関わってもらうことで、情緒が安定し、落ち着き、深い人間関係を築いていく。そういう当たり前の暮らしを保育園で保障するために、一人ひとりの子どもに担当の保育士を決め、子どものことをより深く理解し、目に見えにくいちょっとした心の変化や、昨日と違う今日の変化も感じ取れるように心がけて保育をする。

「流れる日課」（0～2歳児）

この時期の子どもの成長発達にとって、“眠り”は最も大切なもので、「眠り」を中心に、一人ひとりに合わせた一日の日課を作る。自ら眠り、おなかいっぱい食べ、しっかり遊んで、また眠る。この繰り返しが、やがて生活の見通しになり、自分で生活できる力の土台をつくると考える。

「異年齢混合保育」（3～5歳児）

3歳以上児は、3・4・5歳の混合保育を行っている。この保育は、少子化が進み地域社会が閉塞的になり、異年齢での交流が少ない現代において、子ども同士の関わりを豊かに保障する。異年齢混合保育は、子どもの心の中にあこがれの気持ちや思いやりの気持ちを育て、自分自身に対する自己評価や自己像の形成を助ける。また、子どもたちのつながりが自然にでき、友達の見方が多面的になる。異年齢の存在があることで、子どもや保護者が、大きくなることへの見通しを持ちやすく、保育士も3年間の発達段階の中を生きるひとりの子どもとして、その違いにより注目し、保育していくことが可能になると考える。

(1) 子どもの様子について

<行事>

— 子どもの姿と保育 —

子どもたちは、年間行事の「プールじまいの会(9月)」「ちびっこまつり=運動会(10月)」「おおきなあれのつどい=表現発表会(2月)」などに期待を持って取り組むことが出来た。また、それぞれの行事を観覧したたくさんの方から、「子ども達の成長した姿が感動的だった」「よく頑張っていた」との言葉を頂いた。

保育士は、行事や普段の保育の中で、子どもが出来るようになった結果だけでなく、取り組みの過程の中にある子どもの「ちょっとした変化」や「心の葛藤」を、丁寧に言葉にして子どもに伝えることを心がけた。こうした対応は、大人が子どもを認めるといったレベルにとどまらず、子ども自らの行動と感情が一致し、その子の考えが明確になり、やがて自己を確立する段階で、自己一致した人

間に育つと考えている。また、自己の変化に気付くことで、よりよい自分になろうとする意欲を引きだす取り組みへと繋がって行くとも考える。

行事や保育の中での子どもの姿は、やってみたら「できた」「面白かった」「自信になった」という子ども自身の達成感が身に付き、次への期待へとつながり、様々なことを乗り越えるためのエネルギーになったのだと考える。

各行事の参加のべ人数（園児・職員含む）

- ・ちびっこまつり参加者 421 人
- ・おつきみかい参加者 461 人
- ・おおきくなあれのつどい見学者 95 人

<食育>

今年度は、2歳児以上の子ども達が、給食の下ごしらえに参加した。具体的には、筍の皮むき、ささげや空豆のさやむき、トウモロコシの皮むきなどに取り組んだ。5歳児のつくって食べる活動では、保育園駐車場のひまわり畑でボランティアの協力のもと、季節の野菜を栽培収穫し、調理して食べる取り組みをした。普段から、祖父母と畑の手伝いをしている子どもは、これらの取り組みの中で、日常の経験が役に立ち、自信が持て、身の回りの事に積極的に取り組むようになった姿もあった。

また、5歳児は、お当番活動の一環として、毎日の給食の下ごしらえ（皮むきや野菜を切る作業）にも取り組んだ。子ども達も、保育園の給食を支える活動であることを自覚し、意欲的に取り組んだ。このように、頼り頼られる経験や毎日行われる生活の営みに自ら関わることで、子どもの生活力や主体性をはぐくむ取り組みが出来た。

<保育園での事故について>

保育園での事故は年間61件あった。

（0歳児17件・1歳児14件・2歳児21件・3歳以上児9件）

自損事故は19件だった。

（0歳児3件・1歳児7件・2歳児4件・3歳以上児5件）

かみつぎやひっかき、衝突は42件だった。

（0歳児14件・1歳児7件・2歳児17件・3歳以上児4件）

病院を受診したのは、9件だった。

（小児科3件・外科3件・歯科2件・皮膚科1件）

61件のうち重大な事故やけがはなかった。

全ての事故は、園内の事故報告書に、発生場所・時刻・経緯・処置・保護者への対応などを記し、安全委員会を中心に、年度末に事故の傾向などを話し合っている。

今後も、子ども達が安全に生活できるように、ソフト面やハード面においての見直しや充実を図りたいと思う。

<安全対策>

月1回の「避難訓練」と「消火訓練」を実施した。3月には、中区消防署旭東出張所の職員が立ち会いのもと、避難訓練と水消火器を使った消火訓練を行った。子ども達が、静かに迅速に避難する姿を見て、消防署の職員が、「避難時間も短く、避難態度も良かった」とほめて下さった。

また、万が一を想定し、非常災害時の備蓄食料を増やした。現在は、園児と職員で、4食分の離乳食・食事・水などを備蓄している。

災害時など緊急時の連絡を確実に行うための、緊急メールを設置している。このシステムは、県外にメールサーバーがあり、子どもたちの安否情報を確実に保護者に伝えることができる。

また、岡山協立病院の角南先生をはじめ職員さんに来園してもらい、心肺蘇生の実地訓練を行った。保育園にも設置してある、AED（自動体外式除細動器）の使い方や乳幼児や大人の心肺蘇生、誤飲時の対処などを、保護者を交え実践した。

(2) 保護者について

<参観、懇談会の参加状況>

保育参観(年2回)や個人懇談または家庭訪問(年1回以上)など、保育中の子ども様子を保護者が見たり、担任と話をする機会を設けた。

保護者の状況を見ると、保育園行事への参加人数は毎年増えているが、クラス懇談会の参加者は、それに比べ少ない現状にある。今年度は、クラス懇談会で、子ども達の普段の様子を見てみたいという要望があったため、それぞれのクラスのあそびや生活を撮ったビデオを使って、その年齢の発達についての話をした。

—参加状況—

- ・保育参観（保育参加）に参加した世帯数 97.2%（2世帯）
- ・個人懇談または家庭訪問実施した世帯 96.6%（3世帯）
- ・クラス懇談会に参加した世帯(平均) 39.0%

—保護者の感想より—（感想の一部を紹介）

○保育参加とは違った保育園での子ども達の様子を見ることができ、貴重な時間となりました。我が家は一人っ子なので、その子だけしか見る事が出来ず考え込むことも多々ありますが、こうやって他のお母さんと意見交換できる場合は、息抜きにもなり良いと思いました。

○子どもの心理や感情を分かり易くまとめて下さっていたのは、正直爆発する気持ちを受け止めきれずにいた私には、大変参考になりました。

○保育園の生活に、一つ一つ意味や目的があることが分かり、とても勉強できたし、しっかり保育して頂いていることに安心しました。

○子ども達が、あんなに上手にお友達と協力して遊んでいる姿に、びっくりしました。…異年齢混合クラスでよかったです。人とのコミュニケーションが生き伸びると思います。

○家での悩みを聞いてもらえ、みんなの意見も聞けて良かったです。

○子どもが、今までなんとなくしていたことに、意味があるんだなーと思いました。

<父母の会活動>

役員会が2ヶ月に1回開かれた。その他、バザーやバス遠足なども行われた。バザーでは、父母の会役員が中心となり手作り品を出品するなど、保護者に好評だった。

「おつきみ会」および「ちびっこまつり」の実行委員会や当日の準備などは、保護者が積極的に参加し取り組む中で、保護者同士の親睦が深まったように感じる。

また、卒園児の保護者がおつきみ会の父母の会ブースを手伝うなど、「卒園児とその保護者の会」のメンバーが積極的に父母の会活動に協力参加した。

<寄付および共同募金配分金の受領>

子どもたちが育つ環境をよりよくすること、また、その環境の維持を願って父母の会が中心となり、総額1,768,000円の寄付を受けた（内訳；父母の会 1,251,164円、職員 422,158円、その他の個人や団体 95,000円）。また、2012年度に申請をしていた「H24年度共同募金配分金」で480千円の配分金受領をして、砂場の日除け設置事業をおこなった。

本年度は、保育環境の充実のために、共同募金配分金による砂場の日除け設置をはじめとし、日除けテントの新規購入や遮光シートの設置など、夏場の熱中症・熱射病対策に力を入れた。また、3歳以上児が給食後、鏡を見て自分の顔を自分でキレイに拭くことができるようにとエチケットスタンドの設置や、3歳未満児のための室内用砂遊びのためのテーブルの購入に充てた。

(3) 地域との関わりについて

<多世代交流・ボランティア>

高齢者との交流では、5歳児の子どもたちが、わかくさ診療所のふれあい会食に年間のべ7回参加し、お年寄りとの交流を楽しんだ。

また、地域のボランティアには、年間のべ50回以上保育園行事に参加してもらった。季節の行事ごとにアップル会の方が絵本の読み聞かせをしてくれたり、土用の丑の日には魚屋さんが子どもたちの前で生きウナギをさばいてくれたり、年度末のもちつきにはお餅屋さんや東山中学校の子ども達が参加してくれた。

なかでも、医療生協と共に行っている「どんぐりフェスタ」では、企画の段階から実行委員として参加し、あそびのコーナーや模擬店などに取り組んだ。また、「夏休み宿題応援隊」は、小学生と園児が交流し、楽しい時間が過ごせると大変好評だった。参加したボランティアのみなさんも、保育園の環境や子ども達が主体的に生活している様子を見て感心していた。

子どもがさまざまな人と交流し、普段とは違うその場での振る舞い方を学んだり、たくさんの人に見守られ、大切にされている実感を持つことのできる機会となった。また、これらの取り組みを通して、岡山協立保育園を広く知っていただく機会にもできたと感じる。

<園開放>

地域に保育園を開放する園庭開放は年間18回開催した。園庭開放がきっかけとなって保育園へ、親子で足を運び、子どもたちが生活する様子を実際に見ることで、一時保育の利用を希望する地域の方が増加した。参加者は、延べ225名だった。

<一時保育事業について>

地域の利用者の受け入れを開始し2年が経過した。当初は、退園した児童や在園児の兄弟(認可保育園の入園待機中)を対象に受け入れをおこなっていたが、7時30分から18時に変更したところ、すでに就労中で認可保育園の入園申請を出しているが、定員がいっぱいなどの理由で入園できていない児童の家庭から問い合わせが増え、地域のニーズを強く感じた。

来年度からは、より利用しやすい時間や料金設定にし、利用者の増大をめざしたい。

(4) 職員について

*保育内容を向上させる取り組みに積極的に取り組んだ

<公開保育・保育実践学習会>

私たちの園の保育内容を、園外の保育関係者に見てもらい、自らの保育について考え、自分たちが行っている保育内容を見つめ、よりよいものにしていくと共に、自らの保育に自信を持ってほしいと思い公開保育と保育実践学習会を行った。

- ①交流のある県内の保育関係者に公開保育を実施
- ②交流のある、倉敷と岡山市内の保育園に公開保育を実施(3上と3末に分けて2日間実施)
- ③園内研修としての公開保育週間を実施(5月と1月の2回)

園外の参加者から率直な意見や感想を出していただき、自分たちの保育を見つめなおすとともに、公開保育の後の園内学習会の実施を重視した。

実践場面を録画したVTRを使い、自分の保育を客観的に見ながら、課題を明らかにした。子どもの現状や発達にあった環境構成や教材の準備、子どもの日課や大人の動きの見直しなど、クラスが抱えている問題についてどうすれば解決できるかを、職員集団で話し合った。その中で、気が付いたことや提案されたことについては、職員が自分の問題として納得し取り組めることから実践していくように心がけた。

実践するにあたっては、クラスだけに任せるのではなく、職責者をはじめクラスを超えて相談し、協力しながらすすめていった。そのことにより、子どもが能動的に遊べるようになったり、子どもと大人の関係性がより深まるなど、自分たちがやってみたことの結果をより実感することができ、一人ひとりの職員の自信につながったのではないかと思う。

<わらべうた研修>

講師の先生に実践を観察していただいた後、クラスごとに、年齢に合ったすすめ方や、大切にすることなどの話し合いをもち深めていった。年4回取り組むことで、話し合ったことを実践につなげることができ、前回からの子どもの変化について実感することができた。

夕方から取り組んだ「わらべうたをうたう会」では、レパートリーを増やすだけでなく、そのわらべうたがもともどのような背景で生まれたものか、どうやって遊ばれていたかなど、うたの背景を知っていくことで、その情景を思い浮かべながらあそぶことの大切さなどについても学習することができた。習ったうたのなかから、自分の好きなうたを子どもと一緒に楽しむことで、子どもたちの中から自然にうたが聞かれるようになってきた。

<自主学習会>

毎週に1回曜日を決めて、自主学習会（保育よろず相談）を開くこととした。

この会は、保育の中で困っていることやわからない事を、何でも相談できる機会となった。今年度は事前に相談内容を記入してもらうようにした。相談にあっている職責者は、職員が何に困っているのかをつかむことができ、支援しやすかった。このことで、お互いを知る良い機会となった。

(5)経営について

今年度より、今までの「社会福祉法人会計基準」から変更して「社会福祉法人新会計基準（以後、「新会計基準」とする）」にもとづき経理処理をおこなった。「新会計基準」では、社会福祉法人が行う事業のすべてを適用範囲とし、従来の複数の会計ルールを一元化する、ということが大きな変更点となる。また、財務諸表の構成・様式の変更、引当金の種類や共同募金配分金の処理など細かい処理についてのルールが定められたが、当法人が会計処理を行っていく上で大きく変更されたこととしては、法人本部拠点区分と岡山協立保育園拠点区分の間で資金の移動をおこなった際の内部取引は決算処理の際に相殺消去が必要になったことと勘定科目の区分が変わったことの2点があげられる。

具体的な勘定科目の変更内容としては、支出に関する科目の中で、まず人件費支出の内訳が整理されたことが大きな内容となる。今までの職員給与及び賞与に対する勘定科目は、職員俸給（本俸のみ）と職員諸手当（役職手当・通勤手当・超過勤務手当・期末勤勉手当などの本俸以外の手当をすべて）だったが、「新会計基準」では職員給料支出（本俸・役職手当・通勤手当・超過勤務手当など給与で支給するものすべて）と職員賞与支出（夏季・年末等の一時金）となる。また、今まで事務費支出の業務委託費に含まれていた派遣職員に対する支出は、人件費支出に派遣職員費支出として新たな科目が設けられた。次に、水道光熱費の処理が一本化されたことである。今までは、事務費支出と事業費支出のそれぞれに水道光熱費の科目があり経費を按分処理していたが、「新会計基準」では事業費支出で一括して処理することになった。

<収入>

◎収入全般の特徴

- ・収入の柱である保育所運営費収入は園児数に連動して支払われている。年間延べ園児数は2012年度1301名から2013年度1228名へと、前年度より73名減少したため、運営費収入は減少（2,301千円）した。
- ・2012年度より地域の児童の受け入れを開始した「一時預かり事業」の補助金収入が4,590千円（前年度より3,219千円増）で、利用料収入は5,001千円（前年度より3,462千円増）となった。
- ・今年度は、岡山市私立保育所保育士等処遇改善臨時特例事業補助金の収入が2,308千円あった。

<支出>

◎人件費支出の特徴

- ・人件費支出は2012年度より3,944千円増加した。

- 職員給与支出のうち本俸による支出が5,345千円、職員賞与支出のうち夏季・年末一時金による支出が1,133千円増加している。
- 保育士新規採用（3名）や調理師および事務員を正規雇用したものである。
- 保育士等処遇改善臨時特例事業補助金の収入を原資として特別一時金を2,568千円支出した。

◎事業費支出の特徴

- 賃借料支出を今年度から計上しており、165千円となった。
- AED および乳幼児呼吸モニター『ベビーセンス』をレンタルで導入したことによる。

◎事務費支出の特徴

- 土地・建物賃借料支出が前年度より560千円増加した。
- (株)協同プランニングから駐車場用地を借りたことによる。

◎施設整備等収入・支出の特徴

- 「平成24年度共同募金配分金」を「砂場日除け設置事業」に対して480千円を受領をしたため、砂場に日除けテント（966千円）を設置した。

◎財務支出の特徴

- 積立金計画により、15,000千円（前年度より6,000千円増）の積立をした。

<総合評価>

- 園舎の修繕計画及び減価償却による資産減少や『岡山市の就学前教育・保育の在り方について』の動向を踏まえて保育所施設・設備整備積立預金を積み立てた。
- 今年度は「新会計基準」導入の初年度となったため、前年度の予算執行状況との比較が困難な中で、ほぼ年度当初の計画通り、予算の執行を行うことができた。
- 貸借対照表で前年度末と比較すると、流動資産は257千円、積立金は15,000千円増加しており、当期活動増減差額も前年度より4,145千円の増加となった。経営状態は良好であるといえる。